

2018 年度事業報告

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

1. 事業実施の概要

2018 年度は、自然環境保全活動を行う団体への助成事業、自然とのふれあいを深め自然を大切にすることを育むイベント等の自主事業を継続して実施した。財団設立から 28 年を経過し、助成事業は、総件数 464 件、助成金の累計は約 2.6 億円となった。これは、評議員をはじめ理事・監事の方々のご理解とご協力をいただき、地道に事業を継続してきた成果と考える。

公益法人の社会に果たす役割の重要性は、今後も益々増大する状況にあることを鑑み、財団設立時の基本理念「社会環境との調和」を踏まえ、「地球規模で考え、行動は足元から」をモットーに、自然保護に関わる団体への助成、自然環境保全の啓蒙に関する事業を継続し、更に充実させていく。

2. 個別の事業実施状況

(1) 助成事業

2018 年度の助成事業の公募を 5 月 16 日から 7 月 31 日まで募集を行った。応募してきた事業の審査・選考を 2 回の選考委員会で行い、その結果を理事会で審議・承認して 2018 年度助成事業を決定した。

11 月には、2018 年度助成金贈呈式、2017 年度に助成した団体の活動発表会を日野自動車(株)の 21 世紀センターにおいて開催した。

1) 2018 年度の助成の概要

2018 年 5 月 16 日に 2018 年度の助成事業の公募を開始して、7 月 31 日まで募集をした。44 件の応募があり、2018 年 8 月 22 日及び同年 9 月 11 日に選考委員会を開催し、助成する事業を審査・選考した。その選考の結果を理事会で審議・承認し、2018 年度助成事業を 2018 年 10 月 10 日に決定した。2018 年度の助成件数は 25 件、助成金の総額は 900 万円。財団設立からの累計助成件数は 464 件、累計助成金額は約 2.6 億円となった。

・2018 年度助成実績

助成区分	応募件数	助成件数	助成金(千円)
1. 樹木や草花などの植栽活動	6	3	770
2. 自然環境の保全活動	14	12	4180
3. 自然環境の保全に資する調査・研究活動	7	3	980
4. 自然環境の保全に資する教育・啓蒙	17	7	3070
計	44	25	9000

2) 助成した事業の一覧

分野	団体名	都道府県名	活動テーマ	助成額(千円)
樹木や草花などの植栽活動 (3件)	いなば西郷むらづくり協議会	鳥取県	西郷せせらぎ遊歩道に彼岸花を植える活動	320
	認定NPO法人 えんがわ	石川県	“冒険の森”再生プロジェクト	250
	特定非営利活動法人体験教育研究会ドングリ	福岡県	ドングリを植えて育てて伐採して、シイタケを作りながら自然の循環を学ぼう!	200
自然環境の保全活動 (12件)	田毎の月棚田保存同好会	長野県	名勝・重要文化的景観「おぼすて(田毎の月)」棚田の保全活動	300
	日野団塊世代広場	東京都	日野・百草山の緑と自然を守り活用する活動(その3)	500
	NPO法人 下関深坂さくら友の会	山口県	桜の維持管理作業と故郷の森を次世代に残し環境保全を守る	220
	認定NPO法人 阿蘇花野協会	熊本県	阿蘇花野再生プロジェクト ステップⅡ～放置人口林伐採による生物多様性豊かな草原の再生	370
	湘南の森	神奈川県	自然豊かな湘南の森における里山保護活動のレベルアップを図る	370
	二子玉川エリアマネジメント	東京都	二子玉川かわのまちアクション	500
	特定非営利活動法人 溪流再生フォーラム	新潟県	溪畔林、遊歩道を含むイワナ産卵場の造成	290
	松日橋維持管理組合	岩手県	一本橋をとりまく農村原風景の維持	340
	特定非営利活動法人 たんぽぽ	鹿児島県	「蛍の飛び交う森づくり」再生プロジェクト	290
	特定非営利活動法人 アーキペラゴ	香川県	せとうちクリーンアップフォーラム～美しい海を瀬戸内から～	400
	有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会	香川県	香川県観音寺市の有明浜の天然記念物としての海浜植物の保全保護	300
	浅口市寄島町アッケシソウを守る会	岡山県	絶滅危惧種アッケシソウ自生地の保護活動	300
自然環境の保全に	日野植物研究グループ	東京都	日野の水辺ー多摩川の植物相	300

資する調査・研究活動 (3件)	海洋環境防災調査研究会	石川県	能登半島「海士岬」の海浜植物群落を防護ネットにより漂着・飛散ゴミから守る保全活動	500
	特定非営利活動法人 樹木研究会こうべ	兵庫県	「周囲との調和を図った公園木の配植」と「外来種問題」への取組	180
自然環境の保全に資する教育・啓蒙 (7件)	日本野鳥の会愛知県支部	愛知県	「次世代へとつなぐ自然保護のバントリレー」～人と自然とのつながりを子共たちに伝えよう	240
	芦田川環境マネジメントセンター	広島県	芦田川きれい☆きれいプロジェクト「芦田川水辺の学び舎」	400
	NPO 法人 ふるさとの森づくりセンター	東京都	自然が先生 自然が学校	500
	人を自然に近づける川いい会	大阪府	大阪版 外来種ハンドブックの発行とワークショップの開催	600
	環境ネットワーク「虹」	福岡県	未来につなぐ里地里山の生物多様性保全と担い手育成	400
	NPO 法人 nature works	大阪府	大阪北部の生態ビジュアル博物館(仮題)	500
みやざき自然塾(※)	宮崎県	市民のための環境教育指導者養成講座の開発と試行的講師養成	430	

(※)選考後申請者死亡により辞退あり。

3)助成金贈呈式・活動発表会

◆2018年11月10日(土)

◆日野自動車(株)21世紀センター(東京都八王子市みなみ野)

助成金贈呈式には2018年度の助成団体25団体と2017年度の助成団体19団体の代表の方々、当財団の評議員、理事及び監事の方々、61名が参加した。

市橋理事長の開会の挨拶の後、矢島選考委員長から、応募状況及び選考の基本的な考え方などが選考経過として報告された。その後、市橋理事長から2018年度の助成団体に助成金目録を贈呈した。

活動発表会では、2017年度の助成団体19団体が1年間の活動成果を発表した。助成金目録の贈呈を受けた団体も参加し、多くの質問が飛び交う、熱心な意見交換が行われた。

最後に、木村理事が講評と閉会の挨拶をして、活動発表会が終了した。

活動発表会の後、助成金贈呈式及び活動発表会に参加した団体の方々、当財団の評議員、理事及び事務局が参加して懇親会を行った。短い時間であったが団体の自己紹介や情報交換、当財団の評議員や理事の方々との懇談など、和やかな時間を過ごした。尚、この贈呈式・活動発表会の模様は、J:COM 八王子・日野のデイリーニ

ユースで放送された。

4) 助成した団体の訪問

2017 年度に助成した団体を訪問し、活動現地を確認すると共に、意見及び要望の聞き上げを行った。これらは今後の助成事業に反映していく。

① 二子玉川エリアマネジメント

- ◆2018 年 3 月 4 日(日)
- ◆東京都世田谷区
- ◆訪問者 : 関根事務局長、長谷川事務局員

② NPOクワガタ探検隊

- ◆2018 年 6 月 24 日(日)
- ◆大阪府箕面市
- ◆訪問者 : 関根事務局長、長谷川事務局員

③ 特定非営利活動法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター

- ◆2018 年 6 月 24 日(日)
- ◆大阪府阪南市
- ◆訪問者 : 関根事務局長、長谷川事務局員

④ 日本野鳥の会愛知県支部

- ◆2018 年 6 月 30 日(土)
- ◆東京都大田区(コアジサシのデコイを設置した営巣場)
- ◆訪問者 : 関根事務局長

⑤ 一般社団法人 四日市大学エネルギー環境教育研究会

- ◆2018 年 7 月 31 日(火)
- ◆三重県四日市市
- ◆訪問者 : 関根事務局長、長谷川事務局員

(2) 自主事業

自然環境に関する教育と啓蒙のために、主に子どもたちを対象とした自然に親しむイベントと大人を対象とした環境講演会を開催した。

1) 農業体験 春の編

- ◆2018 年 6 月 10 日(日)

◆みなと区民の森環境学習施設(東京都あきる野市)

「農業体験 春の編」をあきるの里山自然塾協力のもと開催し、10家族32人が参加した。午前、数種類のじゃがいもの収穫を行った。子ども達は土の中のじゃがいもを一生懸命に探し、たくさん収穫できた。

昼食は地元の公民館で収穫したじゃがいもをふかして、みんなでおいしくいただいた。

午後は、子ども達はさつまいもの苗を植え付け、大人達は鍬で畝づくりを行った。

あいにくの雨の中、泥んこになりながら充実した一日を過ごすことができた。

2)ぐんま昆虫の森バスツアー

7月21日(土)開催予定のぐんま昆虫の森バスツアーは猛暑の為、参加者の健康を考慮し、やむを得ず中止となった。15家族44人が参加予定であった。

3)農業体験 秋の編

◆2018年11月3日(土)

◆みなと区民の森環境学習施設(東京都あきる野市)

「農業体験 秋の編」をあきるの里山自然塾協力のもと開催し、13家族41人が参加した。

午前は、春に植えたサツマイモの収穫を実施。お父さんたちが鎌を持ち、サツマイモのツルを切った後、子ども達が収穫を行った。自分達で植えたサツマイモが無事に大きく育っており、子どもたちはうれしそうな様子だった。お昼は、皆さんが持参したお弁当とアツアツの芋汁をおいしく頂いた。

午後は、秋の野菜(ほうれん草、ハツカダイコン等)の収穫とネギの植え付けを体験した。農業体験後は近辺を散策したのち、収穫したサツマイモを焼いてみんなでおいしくいただいた。春の編開催日は雨が降り、泥んこになりましたが、今回は秋晴れで気持ち良く自然を体験できた。

4)環境講演会

◆2019年2月25日(月)

◆日野自動車(株)本社大ホール(東京都日野市)

(公財)日野グリーンファンドが主催で「地球温暖化と私たちの未来」というテーマで環境講演会が開催された。当日は、41名が参加し、講演後の質疑も含めて2時間にも及ぶ盛況な講演会となった。講師の「国立環境研究所 地球環境センター」副センター長 江守 正多氏は、地球温暖化のメカニズムやリスクについて話され、この深刻な温暖化を改善するには「現状の省エネ活動のレベル」では達成は不可能で、「常識の転換」を伴うようなレベルの「技術革新(イノベーション)」が必要で、常識にとらわれない発想を持つ人たちによって達成されるだろうと結論付けられた。

また、講演会に先立ち(公財)日野自動車グリーンファンドの支援先である「青梅吉野梅郷梅の里未来プロジェクト」の梅の苗木植栽活動の報告も行われ、日野・羽村工場から

近い青梅市の梅の木の現状を認識し、市民レベルで熱心な梅の里再生活動が行われていることが紹介された。

尚、この環境講演会の模様は、J:COM 八王子・日野のデイリーニュースで放送された。

(3) その他の事業

近隣の団体が主催する環境保全活動や緑化活動に参加した。

2018年6月17日(日)、日野市と(公財)日野市環境緑化協会共催のコスモスアベニューに参加し、スポーツ公園の周辺にコスモスの種をまき、これらにより一般市民や地域団体と交流し協力関係を築いた。

3. 評議員会及び理事会等の開催

下記の評議員会、理事会及び実行委員会等を開催し、財団の円滑な運営を図った。

(1) 評議員会

1) 第1回評議員会

- ◆2018年6月8日(金)
- ◆日野自動車(株)会議室
- ◆2017年度事業報告・決算報告の決議、他

2) 第2回評議員会

- ◆2019年3月1日(金)
- ◆日野自動車(株)会議室
- ◆2019年度事業計画及び正味財産増減予算の報告、他

(2) 理事会

1) 第1回理事会

- ◆2018年5月24日(木)
- ◆日野自動車(株)会議室
- ◆2017年度事業報告及び決算報告の決議、他

2) 第2回理事会(決議の省略の方法による)

- ◆2018年7月17日(火)
- ◆評議員候補者選定・評議員選定委員選任

3) 第3回理事会(決議の省略の方法による)

- ◆2018年10月10日(水)
- ◆評議員選定委員選任、2018年度助成事業の承認

4) 第 4 回理事会

◆2019 年 2 月 13 日(水)

◆2019 年度事業計画及び正味財産増減計算書予算の決議、他

(3) 実行委員会

1) 第 1 回実行委員会

◆2018 年 5 月 11 日(金)

◆日野自動車(株)会議室

◆2017 年度事業報告及び決算報告の審議、他

2) 第 2 回実行委員会

◆2019 年 2 月 1 日(金)

◆日野自動車(株)会議室

◆2019 年度事業計画及び正味財産増減予算の審議、他

(4) 選考委員会

1) 第 1 回選考委員会

◆2018 年 8 月 22 日(水)

◆日野自動車(株)会議室

◆2018 年度に助成する事業の選考

2) 第 2 回選考委員会

◆2018 年 9 月 11 日(火)

◆日野自動車(株)会議室

◆2018 年度に助成する事業の選考

以上

2018 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2019 年 5 月

公益財団法人日野自動車グリーンファンド